

金利上昇による企業への影響アンケート（帝国タイムス2月5日号）

企業の声	業種
プラスの影響の方が大きい	
原材料を輸入に頼っているため、円高が進むことによるコストダウンと借入金金利の負担増加の比較となるが、明らかにプラス影響の方が大きい	一般製材
海外品はどうしても円高による価格低下の恩恵が大きい。1ドル=120円近辺まで戻ると競争力が大きい	一般機械器具卸売
原料を外貨建てで購入しているため円高により収益改善が見込まれる	発電所
正常な金融政策運営に戻ることは、長期的にみても経済に好影響を与える。10年間も異常な金利操作を行うことは、国債残高のみならず国家の将来に不安を残す	家庭用電気機械器具卸売
長引くマイナス金利政策の影響から金融機関の利ざやは縮小し収益力は年々低下してきた。今回の日本銀行の対応で金融機関が保有している債券の時価が下落するというマイナス面はあるものの、長期的な視点では収益力回復につながるものでありプラスの影響が大きい	信用金庫・同連合会
マイナスの影響の方が大きい	
借入金の支払利息が増大、資金調達が難しくなることが経営に与える影響は大きい	自動車部分品・付属品製造
借入金に依存する不動産投資が厳しい時代になる可能性がある	不動産管理
金利が上がれば住宅関係への影響は大きい	鉄筋工事
現在検討中の大型設備投資(3~4年後)を行うことになれば、金利相場次第で資金調達手段も再検討する必要がある	有線テレビジョン放送
景気後退、失業率の上昇、価格値引き要求などで買上げができなくなる	ソフト受託開発
生産機械・産業機械等の設備投資の減速による受注減があると思う	製缶板金
設備投資の冷え込みによる運送需要の減少が予想される	一般貨物自動車運送
新工場を建設するために億単位の借入れをする予定である。金利が上昇した場合にマイナスの影響は大きい	工業用プラスチック製品製造
金利上昇による利息負担が消費の冷え込みの一因となる。また、特に中小企業は新型コロナ・物価高・人件費増など苦しい状況のなかで、資金調達が必要な時期に金利が上昇したことで、さらに経費の負担が増加することも懸念される	酒場、ピヤホール
マクロ経済でみる限り現段階で金利を上げるのは避けた方が良く考える。経済は失業率抑制に向けてさまざまな対策を打つべきだと思う	木製家具製造